

全日本ロードレース選手権関係者各位

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会
MFJ ロードレース委員会・MFJ セーフティ委員会

2026 年全日本ロードレース選手権シリーズ ヘルメット離脱システムに関する規則変更について

記

MFJ ロードレース委員会と MFJ セーフティ委員会は、2026 年より全日本ロードレース選手権シリーズにおいてのみ、ヘルメット離脱システムに関する規則変更を決定いたしました。

これまでのロードレース競技会においては、ライダーの安全を確保するため、“ヘルメットリムーバー”の着用を義務付けており、この規則が導入されてから 20 年が経過しています。

近年、“エマージェンシータブ”機能を備えたヘルメットが標準化されてきたことを受け、2024 年シーズンから全日本選手権に参加するメディカルスタッフを対象とした“エマージェンシータブ”機能の取り扱い講習を行い、あわせて意見収集を行いました。

その結果、両委員会により“エマージェンシータブ”機能の有効性が暫定的に認められ、2026 年シーズンから全日本ロードレース選手権においては、参加選手が次のいずれかを選択できる規則を導入します。

- 「“ヘルメットリムーバー”を着用したヘルメットの装着」
- 「“エマージェンシータブ”機能を備えたヘルメットの装着」

“エマージェンシータブ”機能とは、ヘルメットのチークパッドに取り付けられたタブを引くことでチークパッドが外れ、ヘルメットを離脱しやすくするシステムのことを指します。

※この規則変更は全日本ロードレース選手権のみが対象となり、地方選手権を含むそれ以外の競技会では、“ヘルメットリムーバー”の着用が義務付けられます。全日本選手権に参加される選手も、全日本選手権以外の競技会に参加される場合は、“ヘルメットリムーバー”の着用が義務付けられます。

以上

全日本ロードレース選手権関係者各位

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会
MFJ ロードレース委員会

2026 年全日本ロードレース選手権シリーズ **希望ゼッケン制度の採用について**

記

MFJ ロードレース委員会は、2026 年より全日本ロードレース選手権シリーズに希望ゼッケン制度を採用することを決定いたしました。

全日本ロードレース選手権において、前年シリーズランキングを基にした指定ゼッケン制度を 2021 年より採用してきました。当時、どのライダーが速いのか一目瞭然とすることで、新規ファン獲得の一助となることを目的としていました。

しかし、時の流れの中でスポーツ選手を応援するきっかけが、レースの『勝敗』だけではなく、人間性・価値観・物語への『共感』によるところが大きくなっています。このモーターサイクルスポーツ認知向上の大きな可能性を逃さないために、選手やチームの個性を象徴するパーソナルナンバーが使用できるように、希望ゼッケン制度を改めて採用します。

希望ゼッケン制度の詳細については、全日本ロードレース選手権年間エントリー者に対して、追ってご案内されます。

※ロードレースにおける希望ゼッケン制度の採用は、全日本選手権の年間エントリー者に限定したものであり、全日本選手権スポット参戦者および MFJ カップと地方選手権には適用されません。

以上

全日本ロードレース選手権関係者各位

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会
MFJ ロードレース委員会・MFJ 技術委員会

2026 年全日本ロードレース選手権シリーズ ST1000 クラス **性能調整優遇措置導入のご案内**

記

MFJ ロードレース委員会と MFJ 技術委員会は、2026 年より全日本ロードレース選手権シリーズ ST1000 クラスに、競技の発展と魅力向上を目的として性能調整優遇措置を導入することを決定いたしました。

全日本ロードレース選手権シリーズ ST1000 クラスにおける性能調整優遇措置は、様々な技術的特徴を持つ車両間に存在する性能差を適切に調整することで、多くの車両が競争力を持って参戦が可能となる公平な環境を整備し、参加台数の拡大を図るだけでなく、性能差による一方的なレース展開を抑制して接戦や逆転劇といったより魅力的なレース展開を創出します。これにより、観客・メディア・スポンサーの関心を高め、競技全体の価値向上を目指します。

最適な性能調整を実現するために導入されるコンセッションパーツは、一般市販車をベースに最小限の改造とコストで参加できるという ST1000 クラスの基本理念を尊重し、低コストで導入可能なパーツに限定されています。コンセッションパーツの導入申請は、車両メーカーと輸入販売店のみが行うことができます。

また、コンセッションパーツを適用した車両の性能が著しく向上し、本規則の目的である公平かつ魅力的なレースを妨げると判断された場合、2026 年シーズン中に該当車両の性能調整見直しが執り行われます。

全日本ロードレース選手権 ST1000 クラス性能調整優遇措置規則は、2026 年 MFJ 国内競技規則で詳細を確認することができます。

※本規則は全日本ロードレース選手権 ST1000 クラスのみを対象とし、地方選手権 ST1000 クラスには導入されません。

以上